

令和2年度業務実績に関する評価書（事務局案）の修正箇所について

	修正前	修正後
1 ページ	<p>I 令和2年度の業務実績評価について</p> <p>長岡市公立大学法人評価委員会は、「公立大学法人長岡造形大学 各事業年度の業務実績評価（年度評価）実施要領」に基づき、公立大学法人長岡造形大学（以下、「法人」という。）の令和2年度における業務の実績に関する評価を行った。</p>	<p>I 令和2年度の業務実績評価について</p> <p>長岡市公立大学法人評価委員会は、「公立大学法人長岡造形大学 各事業年度の業務実績評価（年度評価）実施要領」に基づき、公立大学法人長岡造形大学（以下、「法人」という。）の令和2年度における業務の実績に関する評価を行った。</p> <p><u>令和2年度から令和7年度までの第2期中期計画の初年度業務実績の評価に当たり、全体に関わる特殊事情として、令和元年度終盤から始まった新型コロナウイルス感染症のまん延がもたらしているコロナ禍の様態を考慮する必要がある。</u></p> <p><u>長岡造形大学としては、その対応に全学をあげて取り組むために、危機管理対策本部を設置し、国県市からの公的な要請そして社会や産業界の動向を踏まえながら、学生、教職員の感染防止・抑制を最優先と位置づけ、教育、研究、地域貢献そして業務運営等のすべての領域において、従来と異なる方策を含めて、柔軟かつ大胆に業務展開されたことに留意した評価を行ったところである。</u></p>
2 ページ	<p>・事業単位・指標単位評価</p> <p>年度計画に記載された事項ごと（事業単位）及び評価指標ごと（指標単位）の実施状況または達成状況を確認し、評価を行った。</p>	<p>・事業単位・指標単位評価</p> <p>年度計画に記載された事項ごと（事業単位）及び評価指標ごと（指標単位）の実施状況または達成状況を確認し、評価を行った。</p> <p><u>※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした事業で、評価基準における評定や標語を付すことが適当でないものについては、評価基準の評定を「評価なし」とする。</u></p>

	修正前	修正後
3 ページ	<p>(3) 令和2年度の特筆すべき取組</p> <p>【第1 教育に関する目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の整備に関する取組 ・学生支援に関する取組 <p>(以下略)</p>	<p>(3) 令和2年度の特筆すべき取組</p> <p>【第1 教育に関する目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程への取組 <p><u>コロナ禍による時代の変化を捉え、全学的プロジェクトチームを発足し、教育研究組織の見直し方針を定め、現行の4学科から3学科への再編を打ち出した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の整備に関する取組
5 ページ	<p>(2) 概況</p> <p>・コロナ禍による時代の変化により、デザインとテクノロジーの活用、流動的な社会状況に対応する柔軟な人材や様々な状況に対応できるデザイナーの育成が求められることを踏まえ、教育研究組織の見直しに関する基本方針を策定した。</p>	<p>(2) 概況</p> <p>・コロナ禍による時代の変化により、<u>テクノロジーの発展によるデザイン領域の多様化と拡大が加速する認識に基づき、従来のデザイン分野の統合とテクノロジーの活用、流動的な社会状況に対応する柔軟な人材や様々な状況に対応できるデザイナーの育成が求められることを踏まえ、現行の4学科から3学科への再編の方向性を打ち出すなど教育研究組織の見直しに関する基本方針を策定した。</u></p>

※下線部分が変更箇所